

平成 25 年度

相愛大学 一般 A 入学試験問題

国 語

注 意 事 項

(時間 50 分)

1. 問題冊子および解答用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は表紙のほかに 6 ページ、解答用紙は 1 枚である。
3. 問題は□～□の 2 問題である。
4. 筆答開始後、解答用紙の所定欄に受験番号・志望学部・学科・氏名をはっきり記入すること。
5. 解答は必ず解答用紙の所定欄に記入のこと。誤ったものは無効となる。
6. 問題冊子及び解答用紙を持ち帰ってはならない。

学部 学科	受験番号		氏 名	
----------	------	--	-----	--

相 愛 大 学

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

自分の思っていた通りのことを他人がうまく言ってくれているのを聞いた時は、嬉しい^{うれ}というか、胸がすつと^{すつ}するものである。自分は気が付かなかったけれども物事の真実を衝^ついている言葉を聞くと、得をした気になる。それを聞いたことで、その人の視界は広がるだろう。時には相当疑わしいこと、にわかには信じられないようなこと、こちらの神経を逆撫^{さかな}でするようなことを耳にする場合も、当然ありうる。しかしながら、それらにしても、一人だけの判断にもとづく^① 独断とへん見を A^① してくれるかもしれない。

本を読むことの楽しみと^② コウ用も、そのようなものである。そのように一冊の本の中でさまざまな形でこちらに働きかけ、訴えかけてくる語句に出会った場合、ある人はその部分に線を引く。またある人はわざわざ書き抜くかもしれない。それがその人にとっての、その本の中での名言となる。(ア) 古典文学は長い時間にわたって沢山の人々に読み継がれてきたから、それだけ多くの個性が名言として線を引き、書き抜いてきた^③ ケイ句や箴言^{げん}に満ちている。それでもなお異なった個性の持ち主が新たな目で読み直せば、さらに新しい名言も発見されるであろう。(イ) 古典はその意味でも新しい。

古くから多くの人々に愛されてきた名言の中には、余りにも人口^{注2}に膾炙^{かいしや}した結果、最初その作品の文脈の中で言われたのとはやや異なった意味を持たされたり、B^④されたりしているものもありそうだ。(ウ) 言葉というものは一個人の私物ではない以上、それはそれでよいのだろうが、しかしやはりその名言を最初に口にした表現者が本来^④イ^④図したのはどういうことだったのか、それを知らうとすることも意味があるであろう。(エ) 独立した句として親しんできた名言を原典の中で読むと、その作品や作家への理解は深まるに違いない。

教養とは何だろうか。こういう疑問は古くから投げかけられてきた。それに対して明快な回答が出されたのか

どうか、わからない。が、少なくとも、自身の生まれ育った国の古典に対して無関心ではなく、またある程度の知識をも有することが、教養ある人間の一つの条件であるとは言えるのではないだろうか。そんなことを漠然^{ぼく}と考えていた時、佐藤春夫が一九三五年に発表した文章（年少子女のために古典を説く）の中に、「文学に志す作家は無論、読者としても――には先ず母国の文学に親しむというのが原則であろう」という一行を見出して、我が意を得たりと膝^bをたたく思いであった。この文章では「岩波文庫の国文学のなかに収められている位なもののみな一とおり見て置かなければなるまい。そうしてそのなかから自分の愛読に適するものを見つけて少くも三度ぐらい通読したらよかろう」と「年少子女」に勧めているのである。現代の「年少子女」に同じことを言っても、果たして耳^cを貸すだろうか。

古人がすべて偉大であるわけではない。人間は多くの愚行を重ねてきた。[1] 古典がすべて宝ということにもならないだろう。がらくたもないとは言えない。[2] 聖と俗とがともに人間の本性であるならば、がらくたと見えるものの中にも、真実は潜んでいるに違いない。毒も服しようによっては薬となるのだ。

（久保田淳『ことば、ことば、ことば』による。一部改変）

注1 箴言 教訓となる短いことば。

注2 人口に膾炙 世間の人々に広く知れ渡ること。

問一 波線部「すつとする」という表現を説明する語句として最も適当なものを選び符号で答えなさい。

- ア 対句 イ 象徴 ウ 擬態語 エ 直喩法

ウ 人の言うことを聞こうとする エ 大事なものとしてありがたがる

問四 空欄 A、B に入る最も適当な語を次の中から選び符号で答えなさい。

ア 過小評価 イ 拡大解釈 ウ 疑心暗鬼 エ 前言撤回
オ 不言実行 カ 優柔不断 キ 軌道修正 ク 言行一致

問五 空欄 1、2 に入る最も適当な語を次の中から選び符号で答えなさい。

ア しかし イ なお ウ だから エ たとえば

問六 右の文章には、次の一文がぬけている。補うとすれば、(ア)から(エ)の箇所のうちどこが最も適当か符号で答えなさい。

「百人一首」で耳馴^なれた歌を元の歌集に戻して、集を構成する一分子として読むと、また異なった印象を受け、新たな味わいが生ずるように

問七 次のア～エの文は、右の文章の内容について述べたものである。正しければ○印を、誤りには×印をつけなさい。

ア よく知られた名言の中には原典の中で読むと意味が違うものがある。
イ 値打ちがないと思われる作品にも人間の真実が隠れている。

ウ 埋もれてきたことばにも、はっと気づかされる名言が存する。
エ 人命の尊厳が脅かされている今こそ多くの本を読み学ぶことが大切である。

問八 佐藤春夫の作品を次の中からひとつ選び符号で答えなさい。

ア 羅生門 イ 細雪ささめゆき ウ 坊っちゃん エ 田園の憂鬱ゆううつ

二 次問いに答えなさい。

問一 ア～コの中から適する語句を選んで、①から⑩の熟語を完成させなさい。解答は符号で答えなさい。

- ①一意 ②一網 ③一心 ④一騎 ⑤一触
⑥大器 ⑦大義 ⑧大言 ⑨大胆 ⑩大同

ア 小異 イ 専心 ウ 壮語 エ 即発 オ 打尽
カ 当千 キ 晩成 ク 不敵 ケ 不乱 コ 名分

問二 傍線部のカタカナに当てはまる漢字をそれぞれのア～オから選び、符号で答えなさい。

①異ジヨウな事態

②権限の委ジヨウ

ア 上 イ 壤 ウ 常 エ 状 オ 讓

③事態は深コクだ。

ア 克 イ 刻

④所得を申コクする。

ウ 告 エ 酷 オ 黒

⑤遺カンの意を表明する。

ア 感 イ 憾

⑥府から市に移カンする。

ウ 監 エ 管 オ 関

⑦社会福祉シ設

ア 志 イ 施

⑧親善シ節

ウ 私 エ 試 オ 使

⑨衆議院セン挙

ア 占 イ 先

⑩不法セン扱

ウ 選 エ 仙 オ 宣